

# 社会科見学と教養クラス

とあ  
続いている問題です…

正解！  
初の小学生が  
優勝です…

このクイズに出てるの  
小学生なんだ…

すごいなあ…  
うちの子も…

でも地頭が違うから…  
無理かな…

おはな  
おはな

お母さんが諦めて  
どうするんですか！

地頭なんて  
関係ないんですよ！

ひええ！

え…ほんとに？  
だって私  
閃きやセンスもないし…

ワタクシ  
三つ子者です

どうも

『駿英ゼミナール』  
塾長 中山

閃きやセンス  
といった言葉は  
生まれ持った能力  
ではありません！

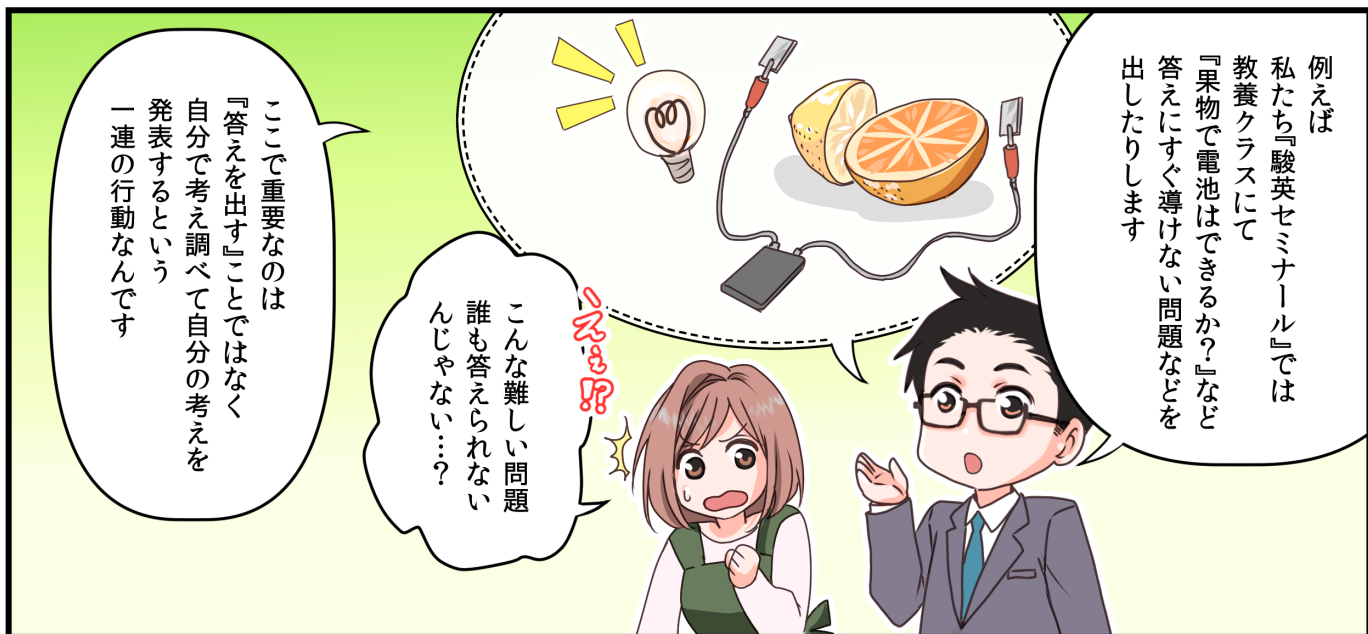
『長く考える楽しさを感じる』  
経験を積んでいけば  
『自ずと』ひらめきのある子や  
『センスのある子』になります！

それは勉強のやり方で  
変わるといいますか？

勉強の中でも  
身に付けられますがもっと  
そこに特化したクラスとして  
教養クラス、社会科見学を  
行っています

大事なのは  
『長く考える経験』と  
『アウトプットする癖』  
なんです

？



例えば  
私たち『駿英セミナー』では  
教養クラスにて  
『果物で電池はできるか?』など  
答えにすぐ導けない問題などを  
出したりします

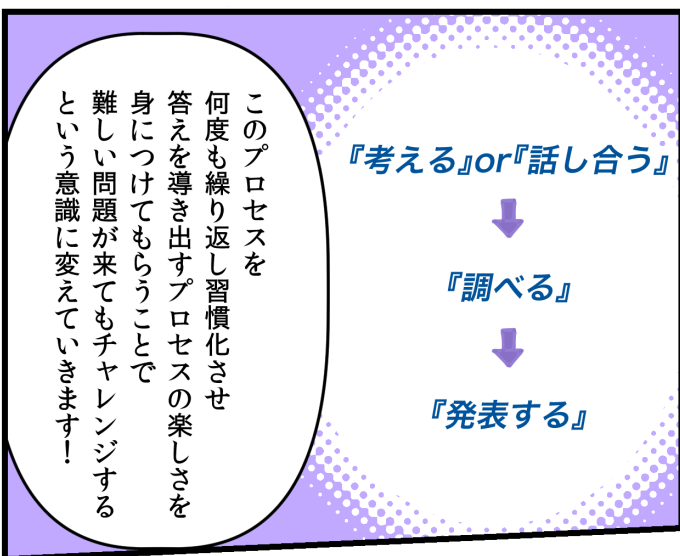
ここで重要なのは  
『答えを出す』ことではなく  
自分で考え調べて自分の考えを  
発表するという  
一連の行動なんです

えっ!?  
こんな難しい問題  
誰も答えられない  
んじゃない...?



正解を出さなくても  
学習する経験の楽しさを  
知ることが  
大事なんです

深く理解する為に繰り返し  
チャレンジする力を  
つけていきます



このプロセスを  
何度も繰り返し習慣化させ  
答えを導き出すプロセスの楽しさを  
身につけてもらうことで  
難しい問題が来てもチャレンジする  
という意識に変えていきます!

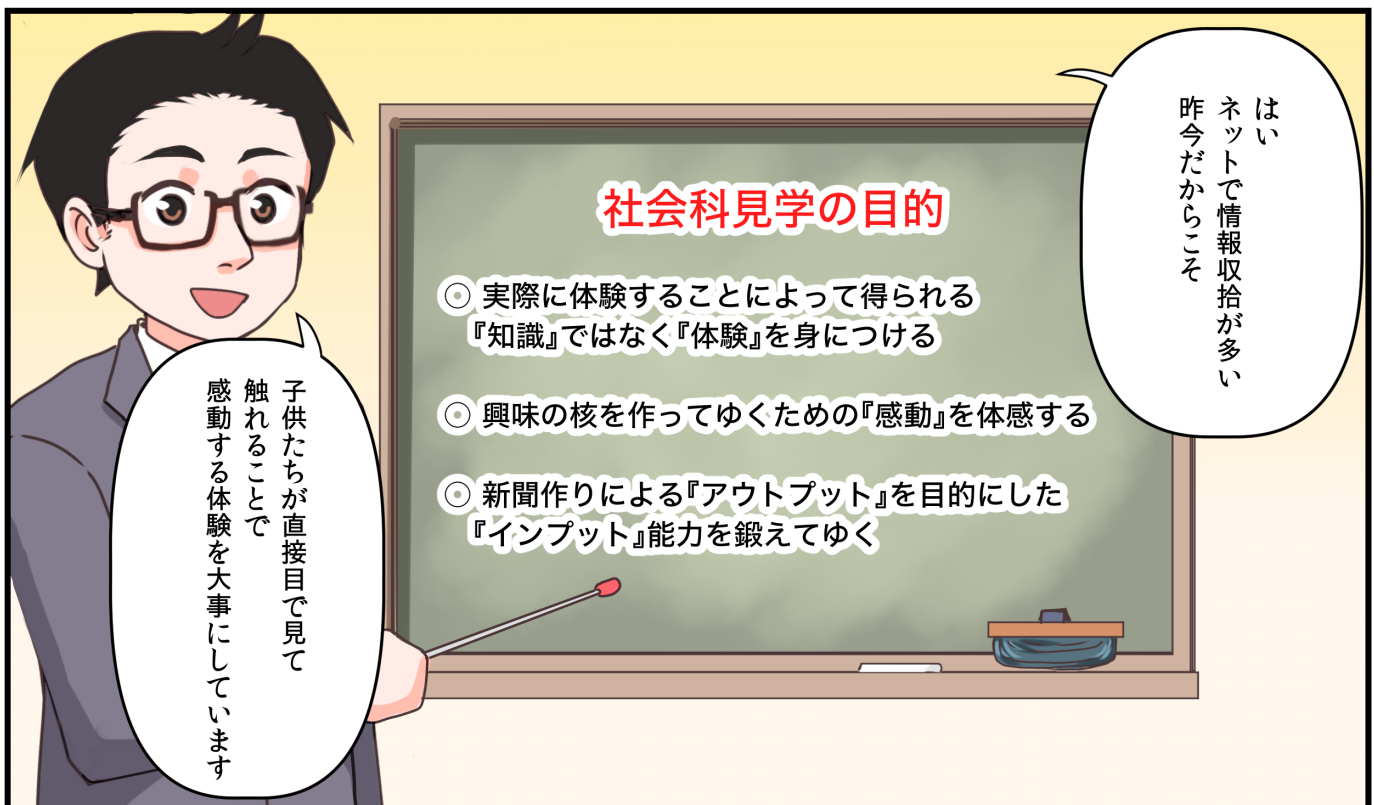
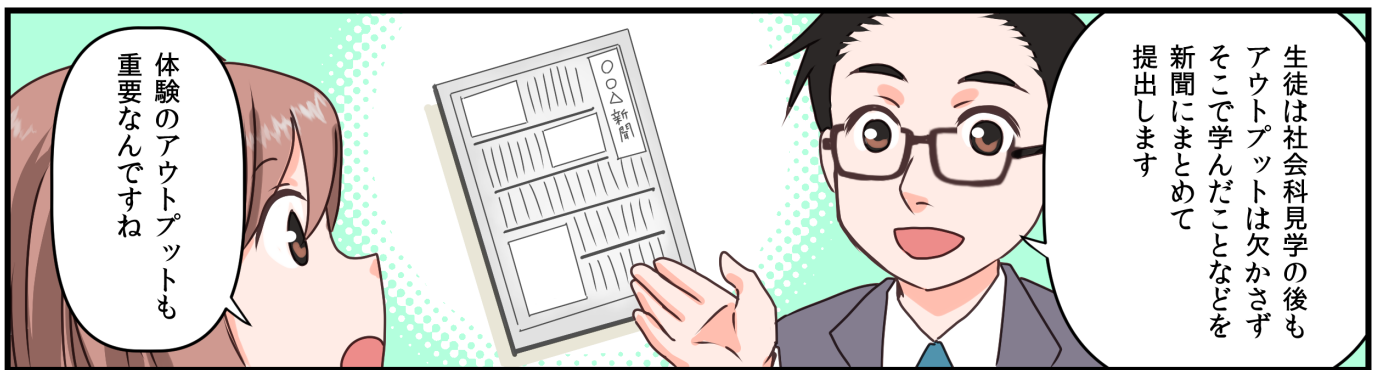


ちなみに発表させるって  
いうことは  
なぜ重要なんですか?

理解が早い子は  
発表や説明が上手です  
誰かに伝えるための学習をする時に  
子供の集中力は高まり  
理解も深くなります

駿英では  
「アウトプットのためのインプット」を  
習慣付けることで  
集中力を高める習慣を作ります





子供が自ら興味を持って感動する能力か…

感動が伴った記憶って忘れないですね

勉強だけでは決して伸ばすことができない能力を子供のうちに伸ばしていくことで自分で考え、学習して行動していける子になっていきます

そうやっていくと手がからなくていいんだけど…

まあ♡

子供のうちに必要なのは知識を入れることではなく『器』を作ることです

いろんなことに興味を持てる感受性誰かに伝えるために情報を取り入れる能力それらを育てていくことで子供の『器』は大きく魅力的で強くなっていきます

是非私たちに任せしてみませんか？

是非よろしくお願ひします

私たち『駿英ゼミナール』では『学習』『教養』の他に『キャリア』と3つの教育の柱を立て総合的に子供達の能力を上げていきます

